

授業科目 成人看護学概論	区分・教育内容		
	専門分野 成人看護学		
授業担当 菅原 晴美 (専任教員)	開講時期	単位	時間数
	前期～中期	1 単位	30 時間
授業の目的 成人期にある人々の生活と健康について理解を深め、健康を保持・増進するための看護アプローチの基本を学ぶ。			
授業の目標 1. 成人期の特徴と生活を理解する。 2. 成人の健康生活を脅かす要因を理解する。 3. 成人の健康を保持・増進するための看護アプローチを理解する。			
授業概要 成人期は人生の中でもっとも長く、社会の中心的な役割を担う時期でもあり、環境や習慣、生活ストレスなど健康生活を脅かす問題を抱えやすい。それらの背景を理解した上で、成人期の健康を保持・増進できるよう援助することが重要である。 成人期は、自分や家族の年代であることを再認識し、グループワークに取り組むことで、興味を持って学んで欲しい。			
授業計画 (進め方) 1 回目 成人とは、大人になるとは…大人について考える (青年期) 2～4 回目 グループワーク①:「成人 (壮年期・中年期) について知ろう！」 成人各期の発達の特徴、生活の様子、健康問題について学び、調べ、まとめる。 4 回目に全体交流をし、学びをレポート提出する (評価対象)。 5 回目 成人の生活と健康問題のまとめ 6 回目 大人の健康行動と看護援助 …大人の学習支援 ヘルスプロモーションと看護 7・8 回目 慢性病との共存を支える看護 慢性病患者の理解 病みの軌跡 疾病の受容 慢性病との共存を支える看護実践 9・10 回目 学習者である患者への看護技術 エンパワメント-エデュケーション セルフマネジメントを推進する技術 11 回目 看護実践における倫理的判断と倫理課題へのアプローチ …グループワーク②:「事例検討」 12 回目 意思決定支援 13 回目 治癒過程にある患者への看護技術 14 回目 症状マネジメントにおける看護技術 15 回目 療養の場を移行する人々への看護技術 急激な健康破綻から回復を促す看護			
テキスト 系統看護学講座 専門Ⅱ 成人看護学総論 医学書院			
参考書・指定図書 必要に応じて講義のときに紹介			
評価の方法 筆記試験 80 点、グループワークの取り組みと提出された学びのレポート 20 点。			